

大府工場の取り組み

環境変化・・・脱炭素社会への具体的目標「2050年までに温室効果ガスの排出を全体で0にする」が政府

より発表され、あらゆる材料の軽量化要求が高まってきた。更に2015年に国連が採択した

2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴール SDGs(持続可能な開発目標)へ寄与

出来る取り組みが必要となった。

「抄造工法」を取り入れた新素材(金属に代わる軽量、強化、ノンスパーク)の開発

2018年3月・・・開発スタート (愛知県、中部経済産業局様、各公設試様より開発支援を頂く)

2021年3月・・・金属に代わる新しい軽量化部材の開発に目途がつく

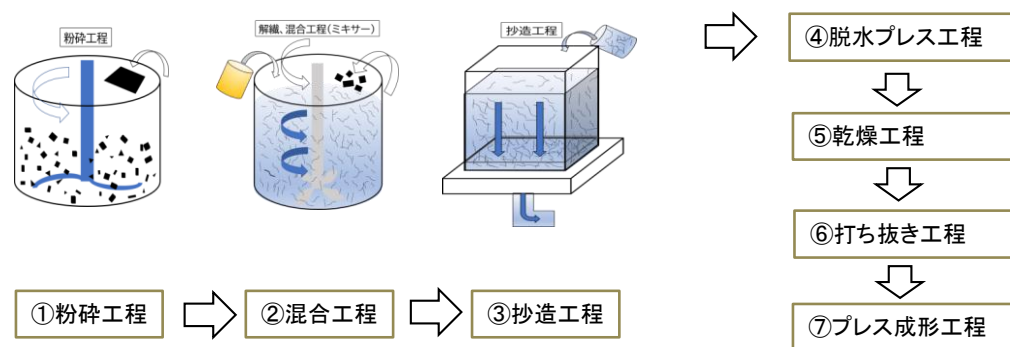
2022年4月・・・メタプラ工具(両口レンチ)の販売開始予定 モンキレンチ、ラチェット等も順次販売を予定

補助金採択実績

補助金事業名称	採択事業内容
2019年度 新あいち創造研究開発補助金	リサイクルカーボン使用による金属代替材の研究開発
2020年度 新あいち創造研究開発補助金	カーボン繊維使用による金属代替材の事業化に向けた研究開発
2020年度 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	自動車内外装材の廃材を使った制振材の開発
2021年度 新あいち創造研究開発補助金	リサイクルカーボンを抄造工法で用いた金属代替部材(工具)の事業化に向けた研究開発

小嶋工業独自の抄造工法

抄造工法プロセス



抄造工法とは

- ・水の中であらゆるもの(重量、大小、長短関係なく)を均一に混ぜ合わせる(分散・混合)ことが出来る
- ・それぞれの機能を失うことなく、特徴を最大限に発揮出来、更に機能の違う材料と組み合わせで、新たな機能材料への展開が可能となる
- ・製造工程でロスが発生せず(抜き残は元へ戻す)、使用した水も循環させる事で環境に優しい工法です